


2024年問題とは？



私
が
解
説
し
ま
す。

2024年4月からの働き方改革関連法により



なんだ？

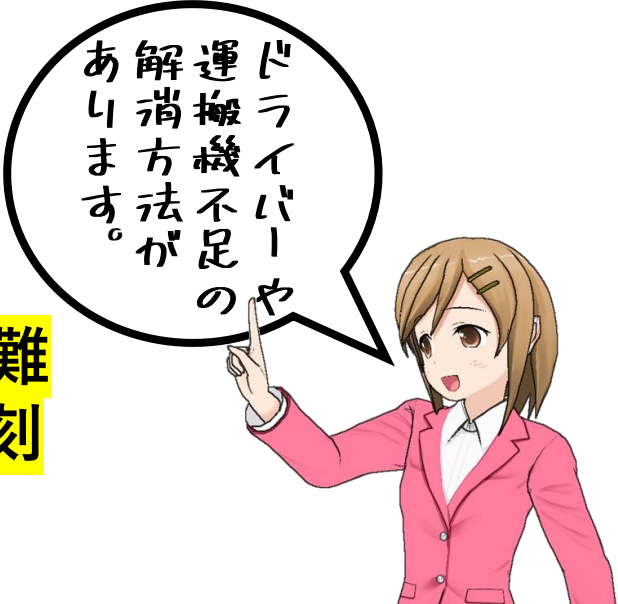
ドライバーの年間時間外労働の上限が年間960時間に制限
(80時間/月)



労働時間が削減になると

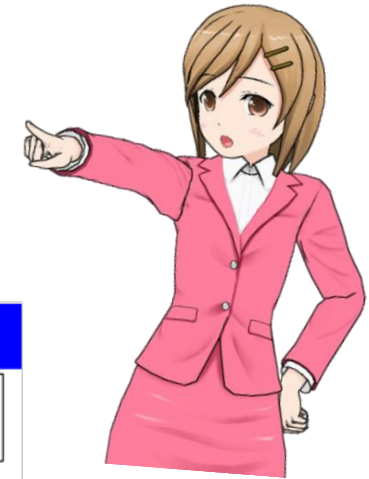
1) 会社保有の運搬機とドライバーの数では積荷の輸送量が減少
→物流事業者・ドライバーの収入減に繋がる

2) 一方で、今迄と同量の積荷の輸送には、
→より多くのドライバーや
運搬機が必要
→更に、ドライバー不足で採用困難
→また、ドライバーの高齢化も深刻



ド
ラ
イ
バ
ー
や
運
搬
機
不
足
の
解
消
方
法
が
あ
り
ま
す。

2024年問題に係る状況は？

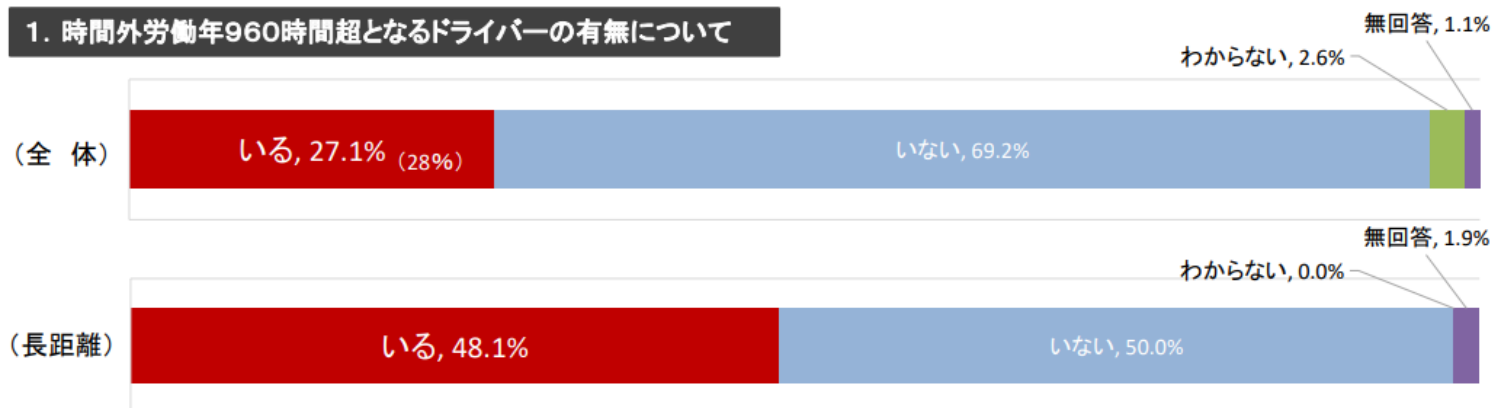


2022年1～2月時点の調査結果

時間外労働、年次有給休暇の取得状況等

○2021年度(令和3年)の時間外労働の上限を超える従業員の有無や年次有給休暇の取得状況等について、アンケート調査を行った結果は以下のとおりであった。(n=727)

1. 時間外労働年960時間超となるドライバーの有無について



2. 月60時間超の時間外労働に対する時間外割増賃金率上げに係る準備について



※出典: 全日本トラック協会「第4回働き方改革モニタリング調査結果」(令和4年1～2月調査)より
※()は、令和2年度調査

2024年問題をどう思っているの？



お客様の声（その1）



当社の10トン
ダンプだと多くても
一回の土砂運搬で
8トン余りだが、
それが仮に二割増えて
10トン運べても、
運転手の残業時間が
月80時間に制限され
たら全然足りなくなっ
てしまう。
頭が痛い！

お客様の声（その2）



ドライバーは常に
不足しており、
ドライバー一人当たりの
業務負担も増えている。
その中で規制対応は、
売り上げや賃金を下げる
事になるであろう。
結果として人材が、
集まらなくなる。
困った。

ドライバー不足や運搬機不足の解決が必要

2024年問題の対応策は？



上陣の提供する



トレーラーなら

解決できます。

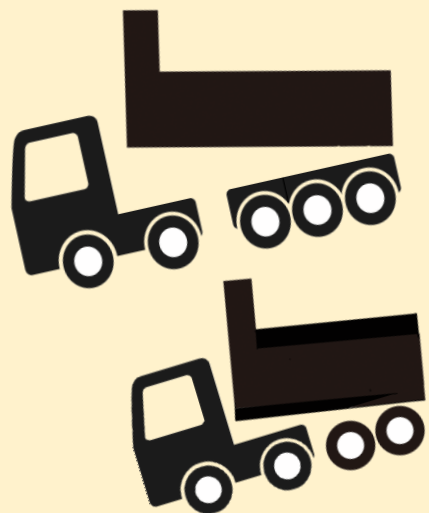


具体的な解決方法は次ページ



上陣のトレーラーなら**3倍**運べます!

例えば、土砂ダンプの場合



Langendorff社製3軸ダンプ
最大積載量 **29T**

Langendorff社製2軸ダンプ
最大積載量 **25T**



よいしょ〜!
これでどう?

上陣のトレーラーなら**73m³**運べます!

例えば、PKSやチップなどのバイオ燃料の場合



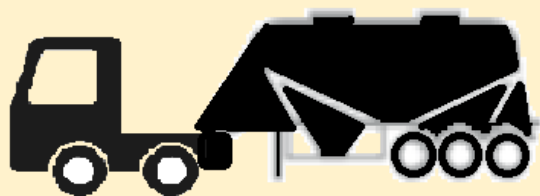
Kraker社製3軸ロービング70P

最大積載量 73m³ 28.5T

安全なロービング70P方式での荷下ろしを採用

上陣のトレーラーなら 31 m^3 運べます!

例えば、セメントの場合



Feldbinder社製3軸サイロタダク

最大積載量 31 m^3 31T

2024年問題の解決

上陣の
トレーラーで
決まりでしょ。

お急ぎ
下さい。

トラクターヘッドの納期：
6ヶ月～未定

上陣トレーラー納期：
約1年
(納期の早い機種もあります)

2024年までに
残された時間は
僅かです。

